

うに郷通信

No.99
平成 29 年(2017) 9 月

発行： 宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

暑さにもめげず頑張っています

8月4日(金)から6日(日)の3日間、宇仁の朝市は芦屋市翠ヶ丘、ぽかぽ、サイサイまつりでそれぞれ出店し、生産者が大事に育てた夏野菜を販売しました。特に翠ヶ丘では新鮮で安全安心な野菜を待ちこがれておられ、公園内に設置したテント前に行列ができるほどの人気です。

サイサイまつりでは、昨年までは市役所駐車場に設置したテント内での朝市でしたが、今年は市役所ホール内での夕暮れ市となり、ふれあい喫茶と一緒に出店しました。屋内での開催でしたので、スペースも狭く、サイサイまつりに来た人の目にふれにくかったのか、ややお客さんが少なかったように思います。



芦屋市翠ヶ丘



サイサイまつり夕暮れ市

8月初旬のこの時期、3日連続の朝市開催がここ数年続いており、暑さにもめげず平均年齢 70 歳のスタッフは汗だくになりながらも頑張っています。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。(朝市部会)

夏休み子ども塾を開催しました

8月8日ふれあい館にて第2回夏休み子ども塾を開催しました。

子ども達28人参加、学生ボランティア4人、スタッフ10人、総勢42人で午前9時から午後3時まで勉強、昼食、遊びと楽しみました。

以下は参加者のコメントです。 “みんな楽しかったネ”



★おねえさんとかおにいさんとかと、あそんでたのしかったです。2ねんになっても、またやりたいです。たのしかったです。(怜)

★大学生と進化じゃんけんや遊んだことが楽しかった。やきそばとおにぎりがおいしくておかわりもできた。しゅくだいもいっぱいできたよ。はじめは不安だったけど楽しかったので来年も行きたいです。(航大)

★わたしがさんかして楽しかったことはみんなでやきそばを食べた事です。家で食べる時より多い人数だったのでにぎやかで楽しかったです。みんなでスイカも食べました。土のところにタネをとばしたので、めがでたらいいなと思います(佳音)

★外に出て遊んで、鬼ごっこをして、一回もタッチされなかったのが嬉しかったです。私はお姉さんお兄さんと遊べてよかったです。(真央)

学生ボランティアより

★短い時間でしたが勉強してご飯を食べて遊んで、夏休みの思い出一つできました。楽しい時間をありがとうございました。(井尻和範)

★今回宇仁子ども塾に参加させていただき有難うございました。子供たちの笑顔をたくさん見ることができとても嬉しかったです(^^) たくさん元気もらいました。(柴垣千尋)

★よく遊び、良く学び、よく食べる。短い時間とはいえ体験できたことは、きっと子ども達の大きな財産になると思います。一緒に立ち会う機会を作って頂いた全ての方に感謝しております。(宮本悠平)

★今回子ども塾で出会った宇仁っ子は元気いっぱい明るくて、たくさん力をもらえました。勉強タイムでは前半図工や習字のグループの子どもたちのサポートをしましたが、みんなのアイデアが形になるためのお手伝いやアドバイスができて嬉しかったし、その作品を満足気を持って帰っている様子を見てとても嬉しかったです。遊びの時間ではみんな全力で楽しんでくれて、たくさん笑顔が見れて、私自身子どもたちと心の底から楽しむことができました。子どもたちにとって夏休みのいい思い出になっていけば嬉しいなと思います。私も本当にいい思い出になりました。ありがとうございました。(中村純子)



第10回コスモスまつりに向けて

8月5日(土)～6日(日)、猛暑の中でしたが、宇仁郷6町の「コスモス畑」と「コスモス街道」でコスモスの種まき作業を実施しました。

田谷町の1.4ヘクタールのコスモス畑には役員さんなど10人以上の参加で、手慣れたとは言え整然と種まき作業が行われました。

また小印南町や青野町では、各20人あまりの子どもや保護者の参加があり、早朝の短時間で作業を終了できました。みんなが思いを込めて蒔いた心が通じて、10月22日のコスモスまつりには、きっときれいな白やピンクの美しい花が咲いてくれるでしょう。
(花畑街道部会)



宇仁郷歴史資料館だより ③-16 近世の宇仁郷

(15) 新田開発と用水路

幕府は、青野原北部(加東市高岡・加西市の一部)新田開発に伴う用水確保のため、任溝(まかせみぞ)と天下溝からなる青野原新田北部の用水に限った14キロに及ぶ大工事を進めたが、後々に、沿線の各村と青野原新田北部(高岡)との間で水争いが起きることが想定されていた。

青野原新田北部の新田開発の用水路工事は幕府の直轄で進められ、原野の開発は願主たちに委ねられた。

* 現在の高岡の翹屋ダムの給水面積は約130ha

(16) 任溝(まかせみぞ)



大工町の任溝

享保7年(1723)、幕府は富家村・山川村(山田町)に新条池、鍛冶屋村に了徳寺池を築造し、新条池～山川～大工～馬渡谷～鍛冶屋～了徳寺池の山裾に添い受水する全長8キロの水路を開き、2年後の享保9年(1725)に完成した。任溝の名称は工事を加西郡の村々に任せたことに由来している。



馬渡谷町の任溝

鍛冶屋村の了徳寺谷に築造する新池の池床にあった了徳寺は、旗本八木家の仲介で高岡に移築され、新池は寺の名を残し了徳寺池となった。

高岡は任溝の維持管理主体であったが、翹屋ダムの完成後に水利権を放棄したため、任溝は290年の役割を終え宇仁郷の歴史的遺構になりました。



図:加西市史より引用

開館日 第1・3日曜9時30分～12時

九州北部豪雨災害に対しお見舞

7月5日から6日にかけて福岡、大分などの九州北部を記録的な豪雨が襲い、土砂崩れや増水などにより多くの集落の孤立、また多数の死者・行方不明者を出すなど大きな被害となりました。「宇仁の朝市」は東日本大震災、昨年の熊本地震に引き続いて、7月21日に神戸新聞北播総局(吉岡総局長)に出向き、神戸新聞厚生事業団に義援金を渡してきました。協議会および朝市関係者一同、一刻も早い復旧復興を願っています。